

地域自然情報ネットワーク 第 14 期事業報告書

平成 28 年 7 月 1 日から平成 29 年 6 月 30 日まで

1. 自然環境の調査解析にかかわる技術の企画・開発および評価事業

● 東京都内エコロジカルレッドデータの評価に係わる基礎的研究

東京都自治調査会への提言・データ提供等

● 上士別町一植生調査および図化。(農業技術開発機構からの委託事業)

上士別町における植生調査、開花植物の調査を行い、地理情報として整備を行った。

2. 自然環境情報の整備・公開事業

● みなかみエコパーク図面作成(自然保護協会からの委託事業)

昨年度の地図作成事業が生かされ、ユネスコエコパークが登録された。

● 徳島県鳴門市地図データ整理およびゾーニングマップ作成(WWF からの委託事業)

徳島県鳴門市における再生可能エネルギー環境影響によるゾーニングマップの作成事業を最終的な説明資料として整理提出した。

3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓蒙活動事業

● 東京環境工科学園での人材育成

東京環境工科学園学生を対象に、自然環境分野への GIS 基本講座を選択授業のひとつとして行う。導入編は授業カリキュラムの中での選択項目として組み込まれる。その上で、受講生の中からさらなるスキルアップをめざす学生を対象に応用編の集中講義を行う。これまでに蓄積された教材の活用と再編を行う。ArcGIS のバージョンは 10.2 を使用する。さらに 3 年生を対象とした環境解析実習を ArcGIS の応用として行った。

● 国際自然環境アウトドア専門学校 GIS 講座

国際アウトドア自然環境アウトドア専門学校の学生を対象に GIS 講座を開催した。(梶並・奥秋)

● ESRI ユーザー会議、コミュニティーフォーラム等への参加を行う。

六本木ミッドタウンにおいて開催された ESRI 社のコミュニティーフォーラムで NPO としてブース出展、ならびに生物多様性コンサベーションフォーラムにおいて活動報告を行った。(梶並、平城、増澤、井本)

● 地域自然情報研究会およびジオエコツアー(座学)の開催

- ・地域との協働による侵略的外来種の排除を通じた水生昆虫の保全

西原 昇吾 氏 (中央大学保全生態学研究室)

- ・研究会「都市近郊の海岸砂丘における生態系サービスを活かした酒造りとその経済効果」

金子 是久 氏 (北総生き物研究会)

- ・「自然エネルギーの普及にみる、地域でのゾーニングの重要性」(市川大悟氏:WWF)

- ・三頭山へのジオエコツアー(増澤・梶並・井本・八田)

● 野生生物と社会学会への協力

野生生物と社会学会の行政研究部会の事務局を置く。

● NPO 法人野生生物調査協会

協力関係を継続する。

4. 自然環境保全にかかわる支援活動事業

- 西武・狭山丘陵パートナーズ指定管理業務

東京都建設局の公園指定管理者である西武狭山丘陵パートナーズの構成員として、「都立公園狭山丘陵グループ」に自然環境 GIS のデータのアップデートを行った。今年度は特に新規開園地区を中心に整備を行った。(亀山、井本、増澤)

- 丸の内自然環境情報整備手法検討にかかわる企画と協力 (大丸有・・・)

丸の内における都市の自然情報のモニタリング試行にかかわるデータ整備と試行を行い、課題の整理をした。(井本、梶並)

- 阿蘇草原再生協議会

前期に引き続き、協議会・生物多様性小委員会に参画し、さらに観光小委員会に参加。(逸見)

- 上サロベツ自然再生事業

再生技術部会および再生普及部会に参画している。(増澤)

5. その他の事業

- メーリングリスト・ホームページの維持管理

ホームページ等による広報を行う。(八十島)

広報を会員への情報提供の重要な手段と考え、その改善につとめる。あわせてメーリングリストの管理を行う。メーリングリストは入退会に応じて随時管理する。(梶並)

平成 25 年度から Facebook による広報を併用。(井本)

- ニュースレターの発行

休刊中